

北海道エリアにおける 今夏の電力需給状況について

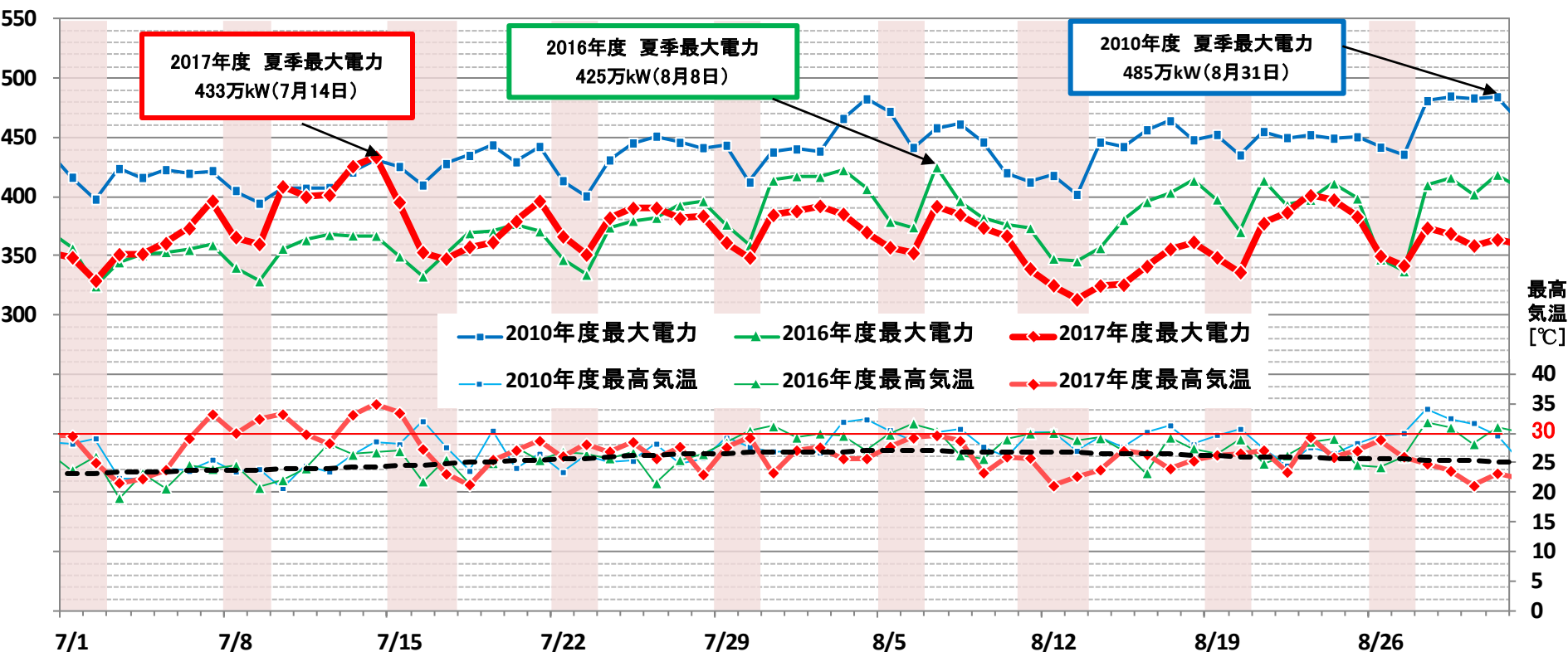
2017年10月12日
北海道電力株式会社

1. 今夏の電力需要実績

- 7月中旬に高気温が続いた影響などから、今夏(7月～8月)の最大電力は、7月14日の433万kWとなり、最大電力想定446万kWを下回りました。
- 猛暑であった2010年度と比較すると10.5%の減少、昨夏と比較すると1.8%増加しました。

【今夏の電力需要実績】

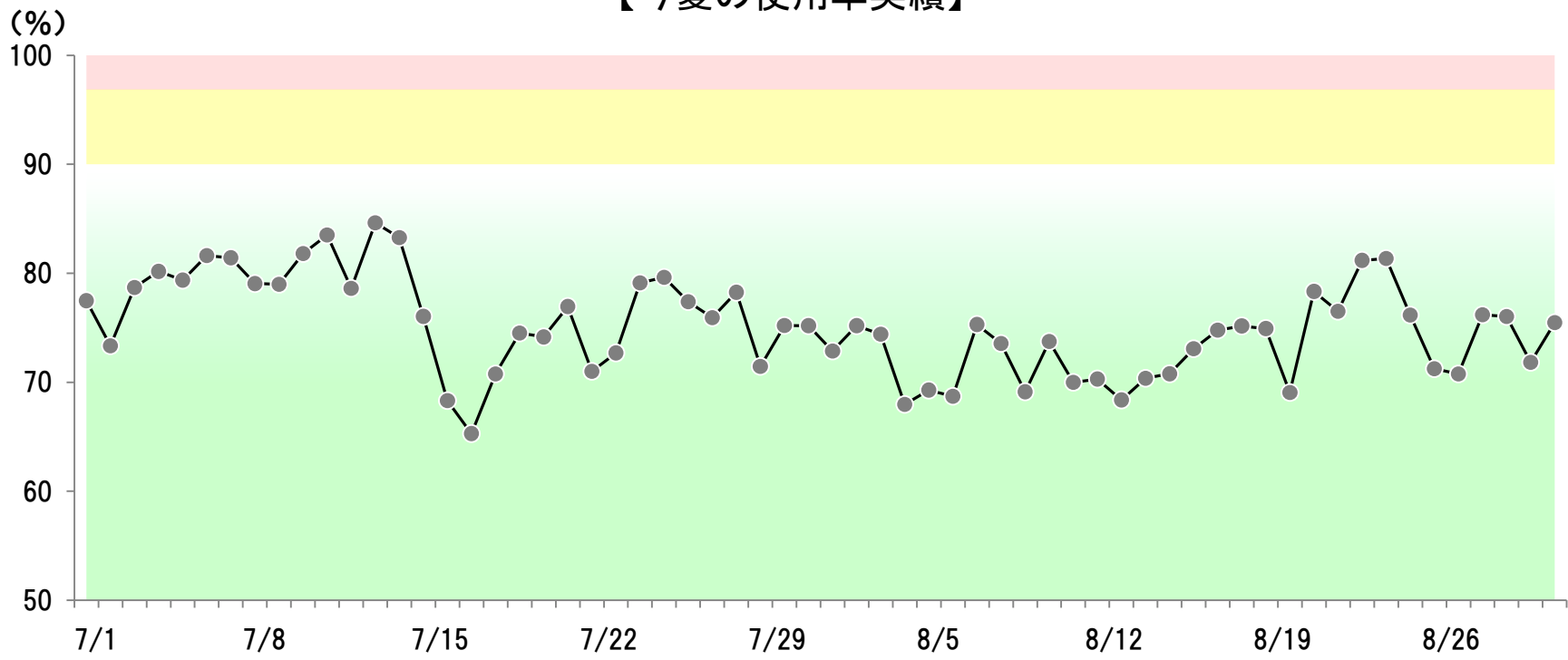
最大電力[万kW]



2. 今夏の使用率実績

- 今夏は、複数の中規模火力発電機で計画外停止が発生しました。しかしながら、お客さまの継続した節電へのご協力と、緊急設置電源や自家発電設備を保有するお客さまからの電力購入などの供給力を確保したことにより、でんき予報での「安定」の目安としております使用率90%以下を維持することができました。

【今夏の使用率実績】



3. まとめ

- ・今夏の最大電力は、猛暑により需要増となるリスクや直近の経済成長の伸び、企業や家庭における節電の定着などを織り込み、446万kWと想定しました。
- ・供給力面では、緊急設置電源の活用、火力発電所の増出力運転、自家発電設備をお持ちのお客さまからの電力購入に取り組みました。
- ・今夏の需給状況は、お客さまの継続した節電へのご協力や気象影響等により最大電力が433万kWと想定を下回ったこと、また、供給力確保への取り組みに加えて発電設備や流通設備の日常的な保守・点検体制の強化や可能な限りの設備保全に努めたことにより、期間を通じて安定供給を確保することができました。
お客さまには節電にご協力いただき、厚くお礼申し上げます。